

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や解決すべき点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員と指導訓練室等スペースの関係で適切である。	100	0	十分なスペースが確保できています。
	②	職員の配置数は適切である。	100	0	利用人数に合わせて職員数を調整しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	80	20	全てバリアフリーではないが、利用者の障害特性に合わせて環境整備をして怪我のないように配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	100	0	定期的に整理整頓・清潔保持を心がけています。玩具の消毒も行っています。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している。	100	0	ミーティング等でPDCAサイクルについて、見直しや話し合いをする機会を設けています。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	100	0	保護者の評価表の結果を基に、業務改善に努め、できるだけ保護者の意向に沿えるように努力しています。
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	100	0	毎月HP及び会報を発行しており、公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げている。	100	0	苦情解決についての第三者評価を設置しています。
	⑨	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保している。	100	0	研修や講演会に積極的に参加しています。また、事業所内研修も行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	100	0	利用者と保護者のニーズをしっかりとアセスメントし、課題や目標を抽出して適切に計画案に取り入れられています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している。	100	0	独自の(事業所内共通)ツールを活用しています。改善点があれば、常に見直しを行っています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域資源」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	100	0	こども・家族・事業所及び地域資源内で適切な支援につながるように、常に情報共有(幼稚園・保育園との連携)や最優先課題解決に努め、具体的なサービスを提供できるように努めております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や解決すべき点など
適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	90	10	職員間で支援内容の把握が出来ていないこともあり、声掛けをしながらフォローしながら行っている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100	0	職員間で役割を決め相談し子どもに対して最良のプログラム立案に取り組んでいます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100	0	季節感のある創作活動や集団活動、個別活動を取り入れています。
	⑯	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している。	100	0	お子様の特性を理解しながら最良のサービスを取り入れています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	100	0	支援前に必ずミーティングを行い、支援内容の確認を行っています。
	⑱	支援終了前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	100	0	その日の気付きなど、情報共有をしっかりと行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げている。	100	0	個別記録以外にその日のこどもの様子を細かくまとめPCで検証・改善をしています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	100	0	成長過程を『見える化』して必要性を判断しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	100	0	担当者会議が行われるようになった。専門職・管理者・児童発達管理者で協力して参加している。
	㉒	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	100	0	その都度、利用者側主体で連携に取り組んでいます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	100	0	関係機関と密に連絡を取り連携を図っています。
	㉔	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合)子供の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	100	0	主治医からの指示書を当事業所へ提出していただき、安心して過ごして頂けるような支援を行っています。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	100	0	関係機関と密に連絡を取り、通園先での様子や当事業所での様子についての情報共有を行うとともに、相互理解に努めています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や解決すべき点など
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②6	移行支援として、小学校特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	60	40	必要に応じて関係機関と情報共有しています。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	90	10	コロナ禍前と変わらず研修に参加し、関係機関と連絡を取り合っている。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会がある。	0	100	日程が合わず交流がなかなかできない状況にある。
	②9	(自立支援)協議会子供部会や地域の子供・子育て会議等へ積極的に参加している。	60	40	コロナ禍前と変わらず参加が出来る。
	③0	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100	0	連絡帳・電話相談・送迎時の会話を活用して共通理解に努めています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている。	100	0	職員が社内外の家族支援プログラム研修に参加し、事業所内で活用できるツールを発売しサービスに取り入れています。
保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100	0	利用者側が納得できるよう配慮・説明を行っています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	100	0	信頼関係を築き同意を得ています。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	100	0	連絡帳や電話・訪問などを活用しニーズを抽出して対応しています。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	0	100	父母会の開催は難しいが、保護者面談などの開催を今後検討していく。
	③6	子供や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	100	0	事業所独自のフローチャートを活用しています。
	③7	定期的に会報などを発行し活動概要や行事予定・連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信している。	100	0	毎月発行しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や解決すべき点など
保護者への説明責任等	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している。	100	0	PCなどでパスワード設定をしたり、書類などは常に鍵付き書庫で保管しています。
	③⑨	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	100	0	アイテムや構造化を活用してコミュニケーションのツールにしています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	80	20	消防署の方に来ていただき、消火訓練などを行った。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100	0	常に見直しを行い最善のマニュアル作成に努め実施しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練を行っている。	100	0	開催日時通りに訓練を実施し職員間で危機管理の意識を高め災害時に備えています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子供状況を確認している。	100	0	情報共有し対応・確認しています。
	④④	食物アレルギーのある子供について医師の指示書に基づく対応がされている。	100	0	事前にアレルギーチェックシートなどで確認を行って注意をしています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	100	0	発生前、発生後、2週間後を目途に発生原因・検証を行っています。
	④⑥	虐待を防止する為の職員への研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100	0	社内外で研修に参加して実践しています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	100	0	生命または身体を保護するため、やむを得ない場合の身体拘束は、事前に保護者の同意を得ています。